

発達障害傾向にある看護学生の行動特性チェックリスト

NO	項 目	チェック
1	自分の考えを文章にすることが苦手である	
2	忘れ物をすることがよくある	
3	提出物の期限を守れないことがよくある	
4	記録や資料等の管理や整理整頓が苦手である	
5	遅刻や無断欠席をすることがよくある	
6	日常生活において、気に入らないことがあると感情のコントロールが苦手である	
7	笑顔が見られず表情が硬い	
8	目線を合わせられない	
9	適切な間合いを取ることができない（時間や距離感）	
10	周囲の人に迷惑をかけていることに気づいていない	
11	自分の思いや考えを相手に伝えることが困難である	
12	ひとりで行動することが多い	
13	指示待ちで積極的に行動できない	
14	グループワークに参加しない、または参加できない	
15	頑固で譲歩することができない	
16	次に行動すべきことが分からなくなることがよくある（実習場面など）	
17	具体的な指示がないと動くことができない	
18	行動の優先順位を判断することが苦手である	
19	待つことができない	
20	予定の変更（スケジュールや受持ち患者など）になかなか対応できない（実習場面など）	
21	一度覚えた手順を変更することが難しい（実習場面など）	
22	特定のことが気になって頭から離れないことがよくある	
23	微細運動や協調運動が苦手である	
24	周囲の心配に対して、根拠のない大丈夫と言うことが多い	

※ 5ポイント以上が要支援学生